



板橋区立美術館
ITABASHI ART MUSEUM

狩野派 蔵品展 学習帳

今こそ江戸絵画の正統に学ぼう

メインストーリー



二〇二〇年七月十一日「土」～八月十日「月・祝」
「開館時間」九時三〇分～十七時（入館は十六時三〇分まで）「休館日」月曜日 観覧料無料
東京都板橋区赤塚五―三四―二七 ☎〇三―三九七九―二二五 www.city.itabashi.tokyo.jp/artmuseum

狩野惟信「菊慈童図」(部分)新収蔵作品

狩野派学習帳

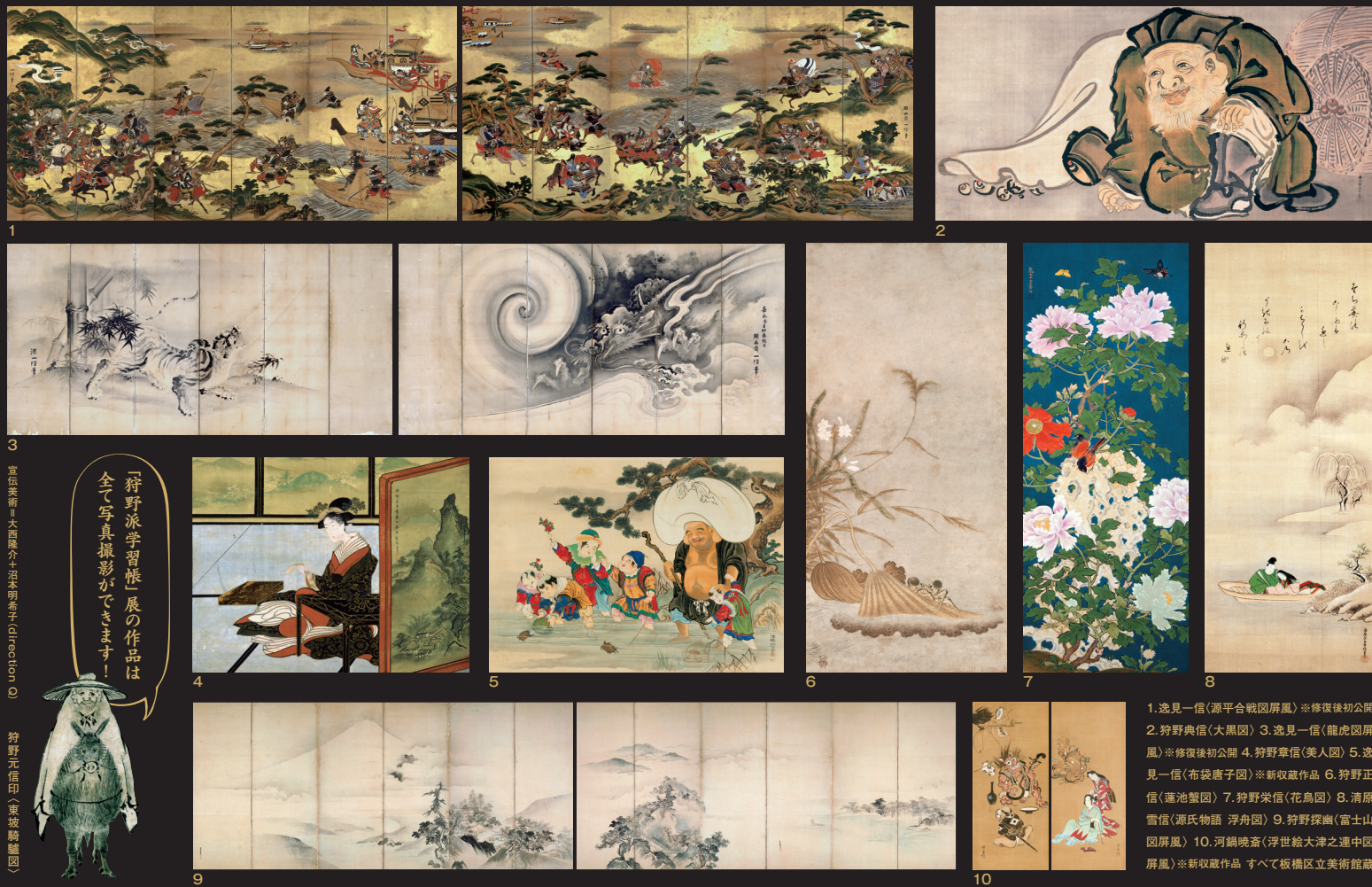
今こそ江戸絵画の正統に学ぼう

近年、奇想天外で刺激的な画風の江戸絵画がますます人気を集めています。しかし、幕府や諸大名の御用として圧倒的に支持され、江戸絵画の正統であり続けたのは「狩野派」でした。

狩野派とは、室町時代から幕末まで実に四〇〇年にわたり、血縁関係でつながり幕府の仕事を行ってきた絵師の専門集団です。江戸時代には、徳川幕府に仕えるため京都から江戸へ活動の本拠地を移した狩野探幽(六〇二〜一六七四)が、狩野派の活動を一層堅固なものにしました。新たな時代様式をつくった探幽をはじめ、その一門は「江戸狩野派」と呼ばれています。

狩野派は、個人の才能による「質画」よりも、模写を重ね伝統を守り伝える「学画」を重視し、和漢の古典を学び画風の継承につとめてきました。そのため、江戸狩野派の作品は、強烈な個性や目新しさを競うのではなく、確かな実力を蓄えた安定感のある筆づかいに特徴があります。その一方、時代の変化や好みに寄り添い変容して発展してきました。

本展では、たつぷりの余白と軽妙な筆致による作品の探幽をはじめ、力強い輪郭線により狩野派の原点を示した典信や、水墨表現から細密描写まで幅広い画技に長けた栄信や養信、さらに近年注目が集まる女性絵師の清原雪信や幕末に活躍した逸見一信まで、江戸狩野派の魅力を、紹介・学べる機会とします。また、近年新たに収蔵した江戸絵画も初お披露目します。



1. 逸見一信(源平合戦図屏風) ※修復後初公開
2. 狩野典信(大黒図) 3. 逸見一信(龍虎図屏風) ※修復後初公開 4. 狩野章信(美人図) 5. 逸見一信(布袋唐子図) ※新収蔵作品 6. 狩野正信(蓮池蟹図) 7. 狩野栄信(花鳥図) 8. 清原雪信(源氏物語 浮舟図) 9. 狩野探幽(富士山図屏風) 10. 河鍋晩斎(浮世絵大津之連中国屏風) ※新収蔵作品 すべて板橋区立美術館蔵

「狩野派学習帳」展の作品は
全て写真撮影ができます！



交通案内

- 徒歩＝都営三田線「西高島平駅」下車、約13分
- 路線バス(1時間に1〜2本程度、所要時間約10分)
 - ①東武東上線「成増駅」北口2番のりば「増17 区立美術館経由 高島平操車場」行き「区立美術館」下車 ※東京メトロ有楽町線・副都心線「地下鉄成増駅」5番出口も利用可
 - ②都営三田線「高島平駅」西口2番のりば「増17 区立美術館経由 成増駅北口」行き「区立美術館」下車
- タクシー＝東武東上線「成増駅」北口、または都営三田線「高島平駅」西口より約5分

① 成増駅北口 [2番のりば発]				2015年3月3日改正
時刻	平日	土	日・祝	
9	17:48	24:48	32:55	
10	24	24	24	
11	00:36	00:36	00:36	
12	12:48	12:48	12:48	
13	24	24	24	
14	00:36	00:36	00:36	
15	12:48	12:48	12:46	
16	20	20		

② 高島平駅西口 [2番のりば発]				2017年3月21日改定
時刻	平日	土	日・祝	
9	13:53	15:51	31:53	
10	27	27	27	
11	03:39	03:39	03:39	
12	15:51	15:51	15:51	
13	27	27	27	
14	03:39	03:39	03:39	
15	15:51	15:51	15:51	
16	23	23		

※お帰りの時刻表は館内の掲示をご覧ください。※時刻表は変更される可能性があります。



新型コロナウイルス感染症拡大防止等のため、マスクを着用されている方はご入館頂けません。原則としてグループでの観覧は遠慮ください。館内では係員の指示に従ってください。また、記載内容について変更する場合がございます。予めご了承ください。